



学園だより

第26期生徒会執行部のみなさん 2011.1.24.

ハイライト

- 第26期生徒会がスタートしました。
- 厳冬の中、センター試験が行われました。
- 岩田中に近年最多の受験者がありました。
- ご注意！インフルエンザが増えつつあります。

新年のご挨拶 理事長 成瀬輝一	1
第26期生徒会の紹介 23年度岩田中高入試について	2
進路指導部より 進路指導主任 三浦準一	3
特活より～部活の報告 特活主任 野村哲也	4
保健室より 養護教諭 野村めぐみ	5
カウンセリングルームより スクールカウンセラー 江藤行大	6
生徒指導部より 生徒指導主任 楠田克彦	7
寄付金募集のお知らせ	8

新年のご挨拶 理事長 成瀬輝一

明けましておめでとございます。

1月11日、三学期始業式の始まり、校長訓話に生徒さんたちは、静かに真剣に耳を傾けていました。式場に凜とした空気が漂い、この若い人たちが、日本の将来を支えるのだと、年初にふさわしい実感をいたしました。

今年は3月にAPU・立命館コースの第一期生を送り出します。岩田に新たな同窓生たちの誕生です。世界が大変な早さで、大きく変化する時代に、このコースで学んだ彼等の将来に、大いに期待するところです。

アジアの小国日本が明治維新を成し、西欧に追いつき追い越せたのは、江戸時代の寺子屋や、藩校が担った教育の賜です。我が大分で云えば、広瀬淡窓の咸宜園であります。この教育の高さはずっと維持され、その力によって資源のない日本が、ここまで来ることが出来ました。しかし現在、日本は急激な不況に見舞われ、政治もまた混乱しております。新しい政権が「コンクリートから人へ」と高く謳いました。この「人へ」とはまさに教育の出番であります。

岩田学園もこの教育を、逞しいクスノキに護られたキャンパスで、今まで通り着実に進めて参ります。冬のキャンパスにもいずれ春が訪れ、クスノキが芽吹き落葉し、美しい若葉でむせ返ります。教育は時間がかかります。まさに岩田のモットーである ゆっくり急げ であります。

本年もよろしくお願い致します。

理事長 成瀬輝一



1月15日今年のセンター試験は大雪となりました。特に2日目は大分市でも朝から2cmの積雪でいたるところで道路が凍結しましたが、センター試験県内5会場はどれも予定どおり実施されました。



生徒会発足の紹介

生徒会顧問 河野智治

昨年11月17日の生徒会長選挙を受け、第26期生徒会長に南龍太さんが就任しました。その後、生徒会執行部、各専門委員を組閣し、12月22日に板倉校長による認証式が行われました。新生徒会の生徒は、緊張した面持ちではありませんでしたが、これから頑張ろうという情熱で目が輝いていました。

12月22日の終業式では、新旧生徒会の引き継ぎ挨拶が行われ、放課後には実務的な業務の引き継ぎが行われました。旧生徒会（第25期）は日頃の活動はもちろん、様々な特別活動でも活躍を見せてくれました。第80回あしなが学生募金では参加者が100名を越え、募金額は大分県・大分支部ともに過去最高を記録することができました。学園祭では、テーマ「奏かなで」のもと、完成度の高い素晴らしい学園祭を創り上げてくれました。11月11・12日には、第35回大分県高等学校総合文化祭が大分市を会場に行われました。その生徒会発表では、24校の生徒会の代表として、最高のものを最高の発

表で伝えたいという思いのもと、県下でも誇れる本校の「学園祭」を発表しました。堂々とした発表ができ、他校の多くの生徒から高い評価をいただくことができました。このように築きあげてきた本校の伝統を踏襲しながら、新生徒会（第26期）が新たな軌跡をのこしてくれることを期待しています。

旧生徒会長 麻生大介さんの言葉：

第25期生徒会の一員として、皆さんのおかげでもっと充実し楽しい一年を過ごすことができ、本当にありがとうございました。第26期生徒会はとも仲がよく真面目だと思えるので、これから一年間しっかり任せられます。頑張ってもらいたいと思います。

新生徒会長 南龍太さんの言葉：

今はまだ不安もありますが、みなさんが満足できるよう信頼できる仲間と共に岩田学園に貢献したいと思っています。よろしくをお願いします。

3学期に入り、新生徒会はさっそく活動をスタートしています。1月16日から2月14日にかけて「書き損じ葉書の寄付呼びかけ運動」を行っています。他にも使用済みのパスカード、テレホンカード、図書カード等も募っており、盲人福祉センターとユネスコに寄付されます。ご家庭でもご協力の方よろしくお願ひ致します。また、今後の予定としましては2月18日に生徒総会が開かれるので、これから準備をすすめていきます。新生徒会が発足してまだ間がありませんが、取りかかりが早く、熱心に取り組んでいます。今後の活躍を大きく期待しています。

生徒会長	南 龍太	
副会長	高江シンラ	金田雅祐子
庶務	日永田和真	戴 晨
体育委員会	正 椎葉隼太郎	副 森島恵理佳
美化委員会	正 関 尊	副 平尾佳奈
広報委員会	正 恒成実季	副 塩手文也
図書委員会	正 高山清一郎	副 瀬戸梨加
文化委員会	正 下川滉介	副 財前明莉
空き缶委員会	正 佐藤尚斗	副 藤川尚代

平成23年度岩田中高入試について 事務局長 工藤紀次

平成23年度入試は、岩田中学校で135名で、また、岩田高等学校で30名の定員で募集いたしました。岩田中学校の志願者数(推薦+一般)は、282名で、合格者数が170名でした。志願者数では41名の大幅増となりました。反面、合格者数では6名少なくなりました。昨年に続き合格ラインを上げたことによると思われます。高校入試での合格者数は5名で、推薦入試をすませた時点で昨年よりも3名少なくなりました。高等学校の一般入試は、2月6日になっており、最終入学者が決まるのは2月19日以降となります。

岩田中学校の推薦入試は、国語と算数の適性検査を実施しましたが、国語・算数共に問題作成時の予想得点を上回る良い点数が出ていたように思います。高校の推薦入試の英語でも、予想点を上回る良い成績でした。中学・高校共に、しっかり基礎学習が出来るように感じました。また、出願時に書いてもらう中学・高校の自己推薦書を読んでもみても、しっかりした目標を持っているようで、今後の学校生活の取り組みに期待が持たれます。一方、一般入試では、合格者最低点も昨年度より更に上げ、合格者を10名少なく発

表しました。

また、今年の入試では体調不良者や保健室受診などもなく、順調に終了することが出来ました。入試に向けての健康管理もしっかり出来ていたように思われます。本校の高校3年生も大学入試センター試験において、風邪やインフルエンザの者もなく試験に臨むことが出来、順当な結果を出したようにあります。入試における健康管理は、ある意味最も重要なことかもしれません。

中学の入学予定者は90名で、入学者登校日には89名が出席しました。入学辞退者はきわめて少なく、確固たる意志を持って入学するという気持ちの強さも感じました。入試終了後に行ったアンケートでは、全般的には授業料の必要のない附属・豊府中学志向は強いように感じました。しかしながら入学者登校日のアンケートでは、他校の入試結果とは関係なく、最初から本人や保護者が「岩田」を選択しているという様子がうかがえ、身の引き締まる思いがしました。

高校の一般入試の出願期間は1月29日までとなっており、多くの志願者があることを願っております。「APU・立命館コース」の1回

生となる現高校3年生は、全員が早々とAPUもしくは立命館大学に進学が内定しております。外国語教育に力を入れている成果は、高1からのTOEFL受験での得点推移を見ても明確で、着実に英語力を付けてきています。

今後も広報活動を充実させ、小学生や中学生の参加できる行事等を用意して、岩田中学校や高校のAPUコースを知ってもらうように務めたいと考えております。来年度は広報活動の一環としてHPを刷新させ、保護者や一般の方々にも楽しんでもらえるものにしよう計画しております。

【平成23年度中学入試結果】

中学校志願者数

志願者数	282名
合格者数	170名

中学合格者平均点

国語	61.7点
算数	73.6点
理科	39.8点
社会	37.1点



進路指導部より

進路指導主任 三浦準一

●2011年センター試験

1月15、16日の2日間にわたって大学入試センター試験が行われました。全国の志願者総数は558,984人で、一昨年から9,387人増加した昨年からさらに5,616人も増加しました。本校からも110名の生徒が、今回の会場である日本文理大学でセンター試験に挑みました。15日の早朝、慣例となっている高校2年生を中心とした在校生・保護者・同窓会の方々・教職員による盛大な見送りを受け、23回生は日本文理大学に向かいました。到着するとまず高2の生徒からの激励文が張られた生徒控え室に移動し、学年の先生による最後の諸注意を受けてそれぞれの会場の下見に向いました。いよいよ本番を迎えた緊張の中にも、「最後の最後までやり抜くぞ!」という強い意思をみなぎらせ、科目によっては試験会場に向かう者、控え室で自分の出番まで自習に励む者とわかれ、各自が真剣に取り組んでいました。センター試験当日には強い寒波の影響で積雪も見られました

が、「受験票がどこにあるのかわかりません!」などといったハプニングが続出しても、持ち前の明るさを発揮して元気にセンター試験に取り組める23回生に、彼等はやはり「何か持っている?」と思わせるような2日間でした。

一昨年、前年とセンター試験では大幅に平均点がダウンしており、今年の結果が目立っていました。大学入試センターが発表した19日現在の中間集計結果によると、本校の生徒が多く受験する12の試験中、数学ⅡB、生物Ⅰ、リスニングは前年比でダウンしましたが、他の科目は全てアップしました。中でも、数学ⅠAの前年比+17.27点を筆頭に、物理Ⅰの10.17点など大幅なアップが理系科目で目立ちました。河合塾の自己採点集計結果によると、文系(6教科7科目 900点満点)で+18点、理系(5教科7科目 900点満点)で+28点となっており、昨年と比べて大幅な平均点アップとなっています。また、高得点者層は、文系ではここ3年間で最も多く、理系

はほぼ一昨年なみに増加しています。このような状況から各予備校とも、受験生は強気になり、難関大学・学部では激戦になるのではないかと予想しています。

先日の自己採点の当日にも話をしたのですが、センター試験の結果だけで、受験のすべてが決まるわけではありません。国公立大の二次試験や私立大学の個別試験までの過ごし方で、受験の結果は大きく変わってきます。特に今回のようにセンター試験の点数に動きが出たときには、予想より得点がでたために油断したり、点が取れずに勝手に自分の力を過小評価化するのではなく、様々な情報を冷静に分析して、受験校の合格を目指して欲しいと思います。もちろん、このような分析は学年団をはじめ学校をあげて全力でサポートしていきますのでいつでもご連絡ください。受験生諸君は気持ちを切り替えて、来るべき私大入試や国公立大の二次試験に向けて全身全霊を注いで勉強に取り組んで下さい。23回生の健闘を期待しています。

高3(23回生)センター試験壮行会を行う。

1月14日(金)の4限に「センター試験壮行会」が行われました。

はじめに板倉校長から「これまでやってきたことを信じて平常心で頑張れ」と激励の言葉をいただき、その後、生徒代表6年1組の加島涼子さんの「これまで頑張ってきたことを遺憾なく発揮します」との誓いの言葉、続いて三浦進路指導主任より「一点の重み」、高校3年各担任より一言ずつ心構えや応援のメッセージをいただきました。

式の終了後には、昨年の体育大会で応援団長を務めた佐知本気君と宗岡宏治君の「23回生頑張るぞ!」の掛け声で式を締めくくりました。

卒業生から「kitkat(きつと勝つと)」の縁起物の差し入れもあり、全員が気持ちを高めてセンター試験に向かいました。

(学年主任 池辺)

センター試験当日は盛大な見送り

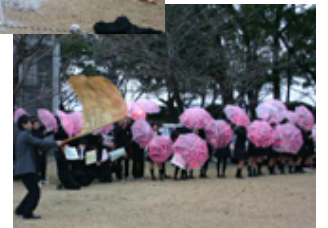
初日となる1月15日には朝早くから在校生・職員・保護者などたくさんの方が見送りに集まりました。

5回生のセンター試験出発式から始まった恒例の冷水かぶりには高2の有志が多数参加しました。

今年の寒さは例年に比べ一段と厳しく、前日の最低気温は-2、この日も1で水行の中止も検討されましたが、後輩の熱意で決行となりました。

2日目は前日からの雪が積もり(大分市内積雪3cm)、市内の道路はいたるところで凍結しました。集合時間に間に合うか心配されましたが予定より15分早く出発をしました。この寒さの中でも先輩の健闘を祈って寮生の有志が水行を行いました。

7レ~!7レ~!23回生!





12月～1月 部活の報告

特活主任 野村哲也

【高校男子バスケットボール部】

第41回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会 大分県予選

1回戦

岩田 71-105 別府羽室台
前半を8点差で折り返すも、ところどころミスが出てしまいました。しかし、選手達はとてもいい顔でバスケをしていました。今回の大会で、引退する選手もいますが、残りのメンバーで4月の大会に向けて、決意を新たに頑張らせたいと思います。寒い中朝早く応援に来て頂いた保護者の方々ありがとうございました。（顧問：酒元）

【高校剣道部】

将龍杯高校剣道大会

1回戦

岩田 0-3 可児工業（岐阜）
選手は精一杯向かっていきましたが、力及ばませんでした。県内外の強豪校の剣風や試合運びなどを今後の稽古に活かしてほしいと思います。（顧問：阿部）

【高校ラグビー部】

第33回大分県高校新人ラグビー大会(10人制) (予選リーグA)

岩田 40-0 大分高専

岩田 7-19 竹田

初戦を好スコアで勝利したものの、次の試合では総合力で相手に及びませんでした。対戦結果により4チーム中3位で、決勝トーナメント進出は成りませんでした。今大会で2年生は引退となります。お疲れ様でした。

（臨時顧問 立川）

伝統の絆OB会

サッカー部OB会

1月3日(月)、毎年恒例のサッカー部初蹴り大会を行いました。当日は中学生と高校生を合わせて50人の現役生と30人以上のOB・OGが集まり、午前中は高校生vsOBの競技思考チーム、中学生vsOBのエンジョイチームという形で試合を行い、寒い中でしたが全員がたくさん汗をかきながらボールを追いかけました。その後は参加者全員で校内の清掃を行い、昼過ぎからはOB・OG会主催のバーベキューをみんなでお腹一杯食べながら世代を超えた親睦を深めることが出来ました。（顧問：野村）



バスケットボール部OB会

12月28日(火)、OB・OG・現役で2010バスケ納めとして、紅白戦・OB戦をしました。中学男子、中学・高校女子・OGは紅白戦。勝ったり負けたりのもつれたゲームの多い中、試合を通してOGと中1の世代を超えたプレイもあり大変有意義な時間を過ごせました。また、OB戦では当初笑いながらプレイしていたOBでしたが、現役の本気モードにつられ、OBも本気モードに。1点差を争う接戦となりました。

試合後は、バスケ部恒例の全員での『大掃除』を行いました。1年間の感謝の気持ちを込めて、体育館内・玄関・体育館周辺・女子更衣室などを清掃し、2010年を締めくくりました。（顧問：酒元）

（↓写真は一昨年のももの）



できごと…

平成22年度樟友会(同窓会)総会が盛大に行われる。過去最多の出席数。

12月30日(木)平成22年度樟友会(同窓会)総会が東洋ホテルで今年も盛大に行われました。

総会ではいくつかの議案を審議した後、卒業生による近況報告を行いました。

今年度は、防衛医科大学在学中には他大学出身の医師が体験できないようなサバイバル訓練をしたという3回生三重野英樹氏、本校英語教員として勤務し、岩田学園の職員の立場となった10回生河野智治氏、東京大学医学部に在学し日々研究に励む16回生

小澤廣記氏が、岩田での思い出や現在活躍しているそれぞれの分野でのことを話してくれました。

総会後の懇親会では、退職された懐かしい先生方も多数出席され、過去最高の出席者216名の参加がありました。

また、二次会では各回生に分かれて、この日は深夜まで思い出話に花が咲きました。本校の同窓会の総会は毎年12月30日に開催されます。





ほけんしつから

養護教諭 野村めぐみ

新年明けましておめでとうございます。
今年に入り、感染性胃腸炎・インフルエンザに罹っているお子さんが日に日に増え、その対応に追われた毎日を送っています。

特にインフルエンザは高校生を中心に先週末より増え続けており、今後も感染拡大が予想されます。手洗い・うがいの励行、マスクの着用など予防を心掛けてください。

インフルエンザ罹患患者数

1年	1名	4年	4名
2年	0名	5年	2名
3年	0名	6年	14名



*中1～中3の女子生徒には子宮頸がんワクチンについてのリーフレットを配布する予定となっています。

*学校でのワクチン接種をご希望のご家庭は後日配布するプリントをよくお読みになり申し込み用紙を提出してください。

子宮頸がんワクチンについて学校医福光先生からお知らせ

子宮頸ガンワクチンが平成23年2月14日から公費接種となります。学校にてワクチン接種を希望される方が多数の場合、学校での実施を考えています。子宮頸ガンワクチンの詳細については2月号の大分市市報に掲載されますのでよくお読みになってください。

接種対象者：

- 平成22年度に中学校1年生相当の年齢から高校1年生相当の年齢のお子さま
(平成23年ではありません)
- 平成6年4月2日～平成10年4月1日生まれのお子さま

接種方法：

- 初回、初回から1ヵ月後、初回から6ヵ月後 の計3回 筋肉内接種
(初回・2回目・3回目のワクチン接種の病院が異なっても無料です)

料 金 ： 無料

平成22年度の高校2年生以上のお子さまは対象外です。
(自費での接種を希望するお子さまは当院へお電話ください。)
平成23年度に高校2年生になるお子さまでも、平成22年3月31日までに1回でも接種を受けていれば、高校2年生にまたいでも2、3回目の接種は無料です。

医療法人 福光医院 〒870-0927 大分市大字下郡1 8 5 4 - 1
097(568)0070

APU立命館コースの高1・高2が英語で『岩田生プレゼン大会(後期)』を行う。

APU講座の後期の集大成として、『岩田生プレゼン大会(後期)』を、1月19日(水)今回は初めて本校大講義室で行いました。10月より各学年4～5名のグループに分かれ、テーマを設定し、TA(APU学生=Teaching Assistant)の指導を受けながら、調べ学習・発表のための資料作りなどを行ってきました。

参加した本校職員・保護者・国際学生・APU職員約80名を前に、今回はこのコースの特徴である語学力を活かして、各研究発表をすべて英語で行いました。高2のプレゼンは動画をつかってドラマ風に仕上げたり、英会話のやりとりを顔つき字幕でスピーディにスクリーンに映したりと発表に工夫が見られました。毎回確実にレベルアップを続けるプレゼン大会に、生徒の日頃からの意欲的な学習活

動への取り組みを伺い知ることができました。指導に当たった高1クラス担任の沖奈緒子先生は「前期プレゼン大会のときの反省が生かされ、発表態度も堂々としてとてもよかったです。高1は先輩たちに負けないよう今後も努力をしていきましょう。」と感想を述べました。さらなる飛躍をめざして来年のプレゼン大会が今から楽しみです。

最優秀：

高2『Seriously economics talk show』
(TA:黄嘉文)

高1『The consciousness of concerning about volunteer activities in APU』
(TA:西郷有紀子)

ベスト質問賞：高1 川口賢三





カウンセリングルームより

みなさん、こんにちは。スクールカウンセラーの江藤行大（エトウタカヒロ）です。

毎日身体の芯まで凍えるような寒い日が続いていますね。ぼくはマフラーと頂いたネックウォーマーに顔を埋めながら通勤しています。皆さんは風邪なんてひいていませんか？

学校の敷地の一番奥にあるぼくのいるカウンセリングルームには様々な悩みや相談を抱えてやってくる人がいます。それは学校のこと。勉強のこと。恋のこと。。。人それぞれで、そのうちの何人かの人には『自分のことを好きになれない』と話す人もいます。

誰かを好きになって愛されるために必要なこと。それは実は自分自身を好きになるということです。誇れる自分であるからこそ自分は愛して愛される価値がある人間であると思えるのだと思うのです。ただこれもそう分かっている時には自分自身が嫌になってしまったりしたりしてしまうもの。そこで今回のスクールカウンセリング通信では

「いちばん大切な自分を好きになること」についてお話したいと思います。

1. 自分を認めてそして好きになること。

なかなか勉強する気が起きなくて、ずっと気になりながらもなんとなく他のことをしてしまって時間を費やしてしまう。そうするうちにお家の人や先生から『いいかげんに勉強しなさい！』だなんて怒られて渋々机に向かうなんて経験をしたことはありませんか？

そうするとそのあとせっかく一生懸命に頑張った宿題をやり遂げたのに、

『自分はだめだなあ。』と思ってしまったり、それでいてどこか『やらされた』という思いを残してしまったりもします。ぼくたち人間は、幼稚園、小学校

スクールカウンセラー 江藤行大

と成長するたびに人間関係だけでなく、勉強や部活や毎日の様々な出来事の中でつまづいたり失敗すると、自分自身を責めたり攻撃することにいつのまにか慣れてきたのかもしれませんが。

だけど本当はそれよりももっとずっと大切なことは“自分のことを自分自身が認めて好きになること。”なのです。

本当は誰かに認められて評価された。ぼくたちは自分自身を褒めることに慣れてなくて苦手な分だけ、誰かに褒めてもらいたい、認めてもらいたいという思いが誰もがあります。そのため、自分以上に虚勢を張ったり、人の評価を気にしすぎてしまったりして、結局頑張りすぎてしまって疲れてしまうことも少なくないものです。

そんなときにはまずはとにかく自分を褒めてあげることをはじめましょう。『めんどくさかったけど一生懸命頑張った宿題をやり遂げた！よくやったなあ。』

『もう少しモンハン続けたかったけど、言われてたお風呂の掃除一生懸命やった。自分えらいっ！』本当は誰かに褒めてもらいたいけれど、こんな風実際に自分で自分を褒めてあげると、想像以上に達成感が実感していきます。小さな達成感を重ねていくことこそが誇れる自分への自信となっていきます。

2. 弱い自分や自分自身の嫌いな部分も丸ごと認めること。

完璧でないぼくたちは、強いところも弱いところも、いいところも悪いところも同時に内包した存在です。ただでも自分ではなかなかその嫌な部分というのを受け入れられないものです。そうして無意識のうちにその弱さを隠そうとしたり、見ないようにしてやり過ぎていこうとしてしまいます。本当は誰もが自分の弱い部分を認めることは嫌なもので

す。だけど『弱いところは変わらないから仕方ない。』と考えることは、『今はこうした自分自身が弱い部分がある。だからそれを変えていきたい。』と考えるようにすることができるのです。

今はできることもあるし、できないこともある。だから今できないことを責めるよりもできるようになろうとする自分を自分自身が応援する。そのことが大切なのだと思います。

不安は目に見えないものに対する感情です。弱い自分や自分自身の嫌いな部分も丸ごと認めることは、目に見えない漠然とした不安を明確な”なりたい自分”への目標に変えてくれるはずです。

3. 自分が好きな場所・人・物事をみつけること。

AKB48が好きな人はそのCDを聴いている時、ARASHIが好きな人はそのコンサート会場で、そして大好きな人と話すときには誰もが最高の笑顔でいることでしょう。ぼくたち人間は、好きなもの、楽しいものの中に身を置くとそれだけで心が弾んできます。そしてその瞬間には心にゆとりが出てきてきっと周りにあるものを全てに優しく愛することができるような気がします。それは自分に対してもそうです。毎日の暮らしの中でささやかな大切なものや好きなものを見つけておいて、その中に身を置くことは、その中にいる自分を大切にできるということでもあります。心のゆとりや余裕は、きっとそんなささやかなことの積み重ねで手に入るものなのだと思うのです。

こうした自分のこと、そして人を好きになるということは、きっとみなさんいつもの暮らしの中で自然にしていることなんだと思います。だけど時には、それがうまくいかなくて悩んでしまうこともあるものです。

生徒指導部より

生徒指導主任 楠田克彦

最近、大分・別府市内で、変質者・不審者が出没しております。登下校はできるだけ集団で、また、暗がりなどはできるだけ通らないよう指導しています。

また、昨年より、大分県警が配信する「まもめーる」の内容、特に不審者・変質者情報を担任を通じて生徒に連絡するようにしております。

大分県警察メール配信システム「まもめーる」とは、大分県警察本部及び警察署から地域の安全に関する情報を配信するサービスです。配信される情報は、現在お使いの「パソコン」又は「携帯電話」で受信することが可能です。登録は無料ですが、メールの送受信及びホームページ閲覧にかかる通信料が必要となり

ます。不審者情報以外にもいろいろな情報が送られてきますので、是非ご家庭でも登録されてみてはいかがでしょうか。以下、最近、送られてきた不審者・変質者情報を掲載します。

「10月27日午後7時20分ころ、別府市石垣東の路上で、帰宅途中の女子高校生2人が、路地から出てきた男に下半身を見せられる事案が発生しました。男の特徴：年齢25～30歳、身長170センチ位、やせ型、髪黒色・天然パーマ風、茶色縁メガネ、口ひげ、白っぽい半袖シャツ☆このような不審な男を見た方はすぐに110番通報してください。」

「12月22日午後4時ころ、大分市牧の公園で遊んでいた幼児が、自転車に乗った男から声をかけられ体を触られる事案が発生しました。●男の特徴：黒色の自転車、短髪、年齢不詳◆変質者を見かけた方は大分中央警察署まで通報をお願いします。」

「1月18日午後8時45分ころ、大分市森地区において、下半身を露出した男性が出没しました。○男性の特徴：年齢10代後半から20代前半位、身長160cm位、やせ型、黒髪で後ろ髪が長く、髪をワックスで立てた感じ、色白、黒縁眼鏡、緑色っぽいジャンパー、濃い緑色のズボン着

大分県警察 メール配信システム

まもめーる

大分県警察本部
生活安全企画課
安全安心まちづくり推進室
交通企画課

大分県警察 メール配信システム



大分県警察メール配信システム“まもめーる”は、大分県警察本部及び警察署から地域の安全に関する情報を配信するサービスです。

配信される情報は、現在お使いの「パソコン」又は「携帯電話」で受信することが可能です。登録は無料ですが、メールの送受信及びホームページ閲覧にかかる通信料が必要となります。

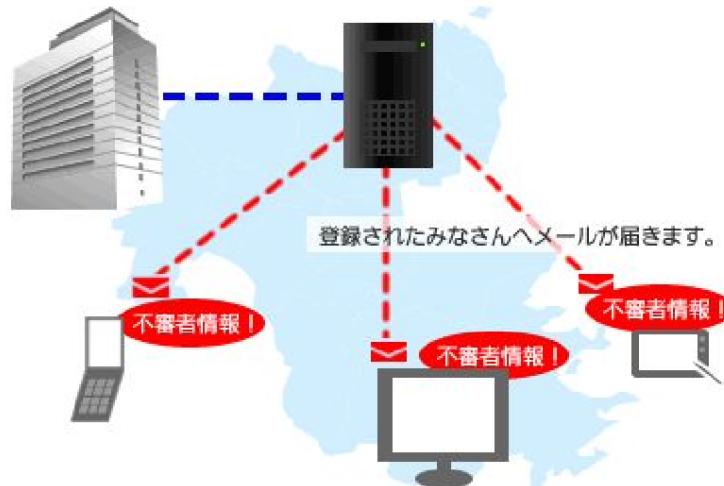
大分県警察「まもめーる」**クリック!**
会員登録のご案内

(PDF:86.5KB)

マスコットキャラクター まもるくん

まもめーる 配信の流れ

大分県警察本部、各警察署より地域の安全に関する情報が配信されます。



いよいよ受験シーズンの到来です。今年はずっとに比べて寒い冬となりました。高3のみなさん体調管理をしっかりと、絶好調で受験してください！

寄付金募集のお知らせ

学校法人岩田学園



今年は1月4,6日岩田中学の一般入試と推薦入試が行われました。



合格発表は1月7日、最近ではもっとも多くの受験生が挑戦しました。

学校法人岩田学園 岩田中学校・高等学校は、明治33年(1900年)岩田英子先生が荷揚町に「大分裁縫伝習所」を創立したことから始まりました。その後、昭和59年3月に女子校としての幕を閉じるまでの間、約四万人の卒業生を輩出し、県下女子教育の一助として学園の使命を果たしてまいりました。

昭和50年に故岩田英二が理事長に就任し、時代のもともめる「教育」と「私学の役割」を考え『学校の組み替え』にとりかかりました。その結果、「学びたいものが広く集まる学校」であり、「自学自習」を基本とし、「個性を尊重し、自分で考え、自分のことばで語れる、創造力豊かな人間の育成」をめざし、昭和58年に県下初である中高一貫6年制男子校として「岩田中学校・高等学校」を開校いたしました。

1回生はわずか25名からのスタートでしたが、学園の建学精神にご賛同いただいた多くの皆様方のご支援、ご協力により、22回生まで2,281名(平成22年3月)の卒業生を送り出しております。この間、平成13年度(2000年)には創立100周年を迎え、翌年からは男女共学へと移行していきました。

「社会に有為な人材の育成」の基本方針のもと、多くの卒業生が、医療・法曹・IT・金融・建設・教育・サービス業等々と多岐にわたり活躍しております。特に医療分野では、今後、大分県内の医療の一翼を担って

くれるものと各方面から大きな期待が寄せられています。今後も学力だけではなく、「公正や正義」「人を思いやる心」を持ち、自主的で行動力のある人材を育てて参る所存です。

当学園は、大分市中心部を流れる大分川の河畔にあり、周囲を豊かなクスノキの樹林に囲まれ、校舎・生徒寮などは世界的に著名な建築家である磯崎新氏の設計によるものです。このような教育環境は、生徒の情操・感性に何らかのメッセージを与えていると考えております。この教育環境を生かし更に発展・充実させるためには、理科実験室の整備や実験用機器、図書館の蔵書、教科指導図書、芸術科・体育科・家庭科の備品等の整備充実は欠かせないものです。寄付金の使途といたしましては、生徒が毎日を過ごす学校の教育環境整備費及び学力定着・向上のための教育研究経費といたします。

寄付金の使途

(1)教育研究用の施設設備の整備及び取得費

(2)教育研究に要する経常経費

生徒のみなさんには、充実した教育環境の中で、それぞれの未来に向けて学校生活を送って欲しいと願っております。

何卒、学園の寄付金募集趣旨をご理解いただきまして、ご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

寄付金についてのお問い合わせは事務室までお願いします。

学園だよりもカラーで掲載

HP&ブログをご覧ください。

<http://www.iwata.ed.jp/>

岩田学園総務部広報課

大分市岩田町1-1-1

学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp



21世紀の有為な人材を育成する

岩田中学校・高等学校